

# 風水害に備える

昨年10月、猛烈で超大型の「令和元年台風第19号」が本市に上陸し、記録的な大雨により、大規模な河川の氾濫や土砂災害が発生しました。また、「令和2年7月豪雨」では九州や岐阜県、長野県など西日本と東日本の広い範囲で大きな被害を残しました。今後も気候変動の影響により、局地的豪雨などが発生する恐れがあります。

この機会に、防災意識を高めて自然災害に備えましょう。

☎ 危機管理課 ☎ (632) 2052

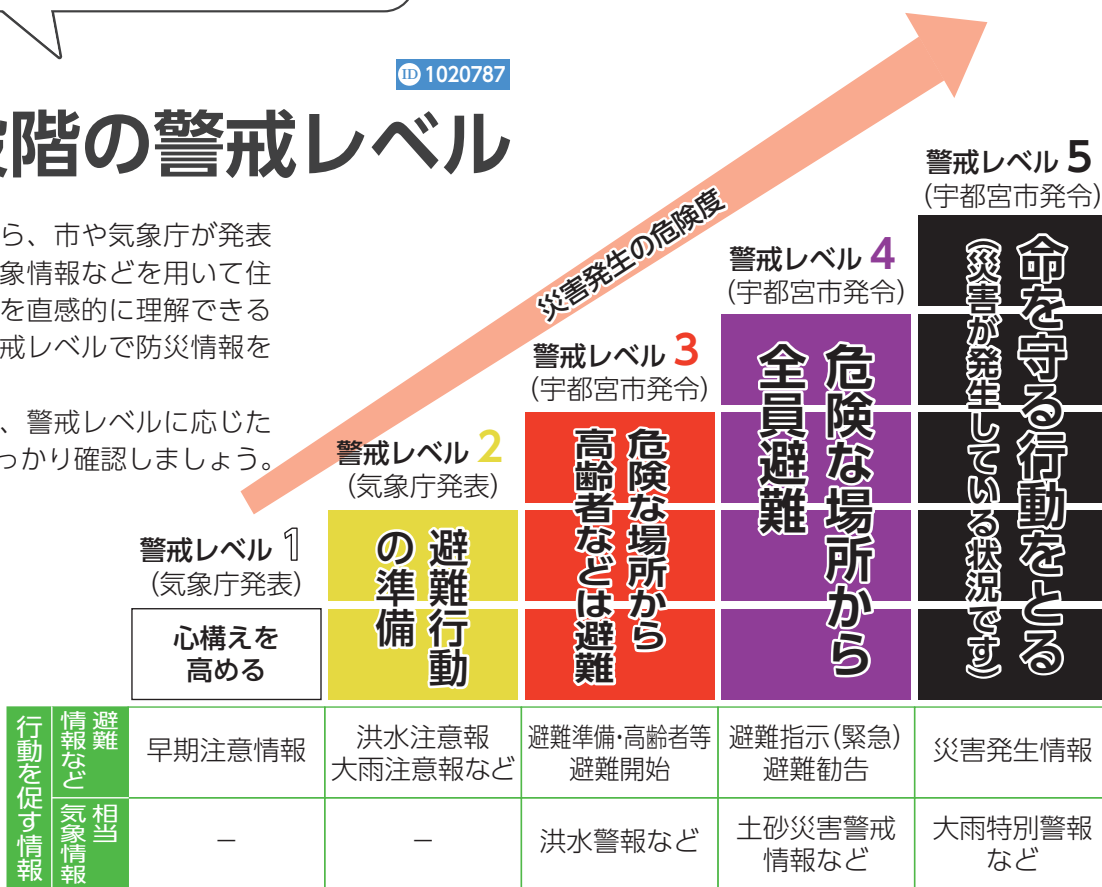
もっと分かりやすい配色に変わりました！

## 5 段階の警戒レベル

ID 1020787

令和元年6月から、市や気象庁が発表する避難情報や気象情報などを用いて住民がとるべき行動を直感的に理解できるよう、5段階の警戒レベルで防災情報を提供しています。

まずは右の図で、警戒レベルに応じた取るべき行動をしっかりと確認しましょう。



すべての人に  
分かりやすい配色に変更

水害・土砂災害の発生時に、5段階の「警戒レベル」に整理されて伝達される避難情報。

今回、すべての人に分かりやすく避難情報を伝えるために、色の違いを見分けやすい黒・紫・赤・黄・白に変更されました。

今後も引き続き、市から発令される避難情報と、国・県から提供される防災気象情報に警戒レベルを付けて避難などを呼び掛けます。

適切な避難行動を  
とりましょう

「水害は地震と違い、事前に大雨の降る地域や台風の進路などが予報され、発生が予測できる災害です。

「自分の命は自分で守る」という自助の意識を持ち、前もって備えておくことで被害を最小限に抑えることができます。

特に、新型コロナウイルス感染症が終息しない中でも、災害時には、危険な場所にいる人は避難をすることが原則です。避難する際は次のポイントに注意してください。

1 避難とは「難」を「避」けるこ

家族でおさらい!



# ハザードマップの見方

特集②



ハザードマップってなに?

ハザードマップは、台風や集中豪雨などによる大規模な洪水や土砂災害の危険性が高まった場合に、被害が発生する地域や被害の程度を予想して、避難や事前準備に関する情報をまとめたものです。

「もしもの時」に備え、このハザードマップで自宅などの位置を確認し、避難する場所や災害の備えなどについて、日頃から家族や地域の皆さんで話し合い、確認しましょう。

## 1 洪水ハザードマップ ID 1023319

鬼怒川・田川・姿川の氾濫による浸水想定区域を記載。



どのようなことが書いてあるの?

- ▼ 浸水した場合の深さ0.5m未満、0.5～3.0m未満、3.0～5.0m未満、5.0～10.0m未満、10.0～20.0m未満の区域を色で区分。
- ▼ 氾濫流や河川侵食が発生することで、家屋の倒壊の恐れのある区域を記載。
- ▼ 河川が氾濫した場合に、浸水が継続する時間を最大12時間、24時間、72時間で表示。
- ▼ 避難所や洪水時における避難場所を記載。



▲鬼怒川洪水ハザードマップ

## 2 土砂災害ハザードマップ ID 1023319

土砂災害により住民の生命・身体に危害が生じる恐れのある区域を記載。3月に、上河内地区・河内地区における土砂災害ハザードマップを改訂しました。



どのようなことが書いてあるの?

- ▼ 大雨・地震などの際に土砂災害が発生する恐れがある土砂災害特別警戒区域を赤、土砂災害警戒区域を黄の2色で表示。
- ▼ 土砂災害が発生した際の避難場所を記載。



▲土砂災害ハザードマップ

## 3 農業用ため池ハザードマップ ID 1018908

農業用ため池が決壊した場合の、浸水想定区域を記載。



どのようなことが書いてあるの?

- ▼ 浸水した場合の深さ0.5m未満、0.5～1.0m未満、1.0～2.0m未満、2.0～5.0m未満、5.0m以上の区域を色で区分。
- ▼ 急傾斜地の崩壊（がけ崩れ）や土石流など土砂災害が発生する恐れのある区域を記載。



どこで見られるの?

市庁から取り出せる他、洪水ハザードマップ・土砂災害ハザードマップは河川課（市役所8階）、各圏でも取得できます。

洪水ハザードマップ・土砂災害ハザードマップ＝河川課 ☎ (632) 2685、農業用ため池ハザードマップ＝農業企画課 ☎ (632) 2474

「もしもの時」に備えて情報の入手方法を再確認

昨年令和元年台風第19号では、市内で河川の氾濫や土砂災害が発生し、床上浸水など大きな被害が発生しました。災害時に逃げ遅れた原因の一つには、情報の入手方法を知らないことや入手した情報を正しく活用できなかったことが挙げられます。

本市では、災害に備えてハザードマップ（上の記事参照）や、災害時にラジオや防災情報メールなど、さまざまな方法で、情報発信を行っています（15ページ参照）。

「もしもの時」に備えて情報の入手ツールを確認しておきましょう。

と 安全な場所にいる人は、避難所に行く必要はありません。

2 避難所は、避難所だけではありません。安全な親戚・知人の家に避難することも考えてみましょう。

3 マスク・消毒液・体温計を携帯してください。避難所はマスク・消毒液・体温計が不足しています。できるだけ携帯してください。

4 豪雨時の屋外の移動は車も含め危険です。やむを得ず車で移動する場合は、浸水しないよう周囲の状況などを十分確認してください。

# 「もしもの時」にあなたがとるべき避難行動は？

## 避難行動判定フロー

災害が発生した際、「自分は逃げる対象なのか分からない」と判断に迷ってしまう人もいないではないでしょうか。

あなたの避難行動はどこに当てはまりますか？「もしもの時」に適切に行動できるよう、確認しておきましょう。

私たちも  
確認してみます

宇野さん(20代)



- ▼住まい 浸水想定区域外の土地に建つアパートの2階。
- ▼同居家族 妻と3歳の子ども。

都さん(70代)



- ▼住まい 浸水想定区域内に建つ平屋。
- ▼同居家族 なし。市内に息子夫婦が住んでいる。
- ▼その他 足腰に不安がある。

宮田さん(40代)



- ▼住まい 浸水想定区域内の川岸に建つ軒家。
- ▼同居家族 妻、11歳と15歳の子ども。

市川さん(50代)



- ▼住まい 浸水想定区域内に建つ高層マンションの12階。
- ▼同居家族 妻。

はい

いいえ

ご自身または一緒に避難する人は避難に時間が掛かりますか？

災害の危険があるので、原則として、自宅の外に避難が必要です。

START

ハザードマップ(※)で自分の家を確認しましょう。  
家がある場所に色が塗られていますか？

※ハザードマップは13ページをチェック！

ただし

いいえ

浸水の危険があっても、次のどちらにも当てはまる場合は、自宅に留まり安全確保をすることも可能です。

- ①浸水や家屋の倒壊・崩落の恐れがある区域の外側または高いところにある。
- ②浸水しても我慢できる、水・食糧などの備えが十分で、ライフラインの確保ができる。

マンションは浸水想定区域内だけど、自宅は12階で、食料なども確保できているから、ライフラインの安全を確認できれば自宅にいてもいいの？  
どんな家庭備蓄が必要か確認しておこう。



市川さん

家庭備蓄品をチェック/ ID 1003237

- ☑飲料水 飲料水は1人1日3ℓが目安。ペットボトルなどが良い。
- ☑非常食品 缶詰やレトルトのおかず、アルファ米、レトルトのご飯、ドライフーズ、インスタント食品、チョコレートやあめなどの菓子類、調味料など。
- ☑燃料 卓上コンロ、固形燃料、ガスボンベの予備など。
- ☑その他の生活用品 生活用水(風呂・やかんなどに水を入れておく)。毛布、寝袋、洗面用具、携帯トイレ、トイレトーパー、ろうそく、新聞紙など。

※あくまで家庭備蓄の例です。ご家庭や環境によって、この他、必要なものを備えてください。

色が塗られていなくても、周り比べて低い土地や崖のそばなどに住んでいる人は、市からの避難情報を参考に、必要に応じて避難してください。

自宅は色が塗られてなかったけど、周り比べると土地が低いから、避難の必要があるかもしれない。  
小さい子どももいて、避難に時間が掛かるだろうから、災害時は避難情報を積極的に確認しておこう。



宇野さん

情報の入手ツールは15ページをチェック！



## 情報は自分で取りに行くことが大切！ 情報の入手ツール

### 1 宇都宮市登録制防災情報メール

事前登録をすれば、災害時の避難情報や避難所開設情報が自動で携帯やパソコンに送信されます。



### 2 市ホームページ・ツイッター

災害が発生した場合には、随時、市HPやツイッターで気象情報や避難情報を発信します。



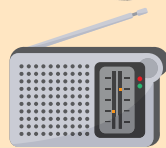
### 3 テレビ(データ放送)

本市では災害時に、災害情報などをとちぎテレビのデータ放送で随時発信しています。とちぎテレビを視聴中に、リモコンのdボタンを押してご覧ください。



### 4 ラジオ

レディオベリー(76.4MHz)やミヤラジオ(77.3MHz)などで、気象情報や避難情報などを放送します。



## さらに、販売価格の4分の3を補助/ 防災ラジオ購入費補助制度

☎1019013

大規模な災害が発生した時や、発生する恐れがある時に自動で電源が入り、大音量で避難情報などが流れる緊急告知機能付き防災ラジオの購入を補助します。

▼対象 次の全てに当てはまる人。①市内在住で市税の滞納がない②Eメールを受信できる携帯電話を持たない、または携帯電話を持っていても登録制防災情報メールを利用できない。

▼自己負担額 3,600円(税込)。販売価格1万4,300円のうち、市が1万700円を補助します。

▼申込方法 危機管理課(市役所4階)または各区・団に置いてある申込書(市HPからも取り出し可)に必要事項を書き、郵送で、〒320-8540市役所危機管理課☎(632)2053へ。

▼その他 補助制度が適用されるのは、市指定の防災ラジオを購入する場合に限ります。また、在庫数や申込状況により、購入まで時間が掛かる場合があります。



警戒レベル3が出たら、**安全な親戚や知人の家に避難**しましょう

自宅から1km離れている浸水想定区域外に、息子夫婦が住んでいるから、もしもの時は息子の家に避難させてもらえばいいのね。

都さん



警戒レベル3が出たら、市が指定している**指定緊急避難場所(一時避難場所)**に避難しましょう

避難所は状況に応じて開設するので、行く前に開設しているか確認することも忘れずに！

警戒レベル4が出たら、**安全な親戚や知人の家に避難**しましょう

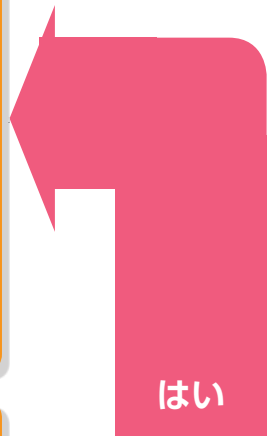
警戒レベル4が出たら、市が指定している**指定緊急避難場所(一時避難場所)**に避難しましょう

最近引っ越してきたばかりで、身を寄せられる知人もいないから、災害時は避難情報をよく確認して、早めに家族で避難場所に避難しよう。

宮田さん



避難所は状況に応じて開設するので、行く前に開設しているか確認することも忘れずに！



安全な場所にお住まいの身を寄せられる親戚や知人はいますか？

安全な場所にお住まいの身を寄せられる親戚や知人はいますか？

